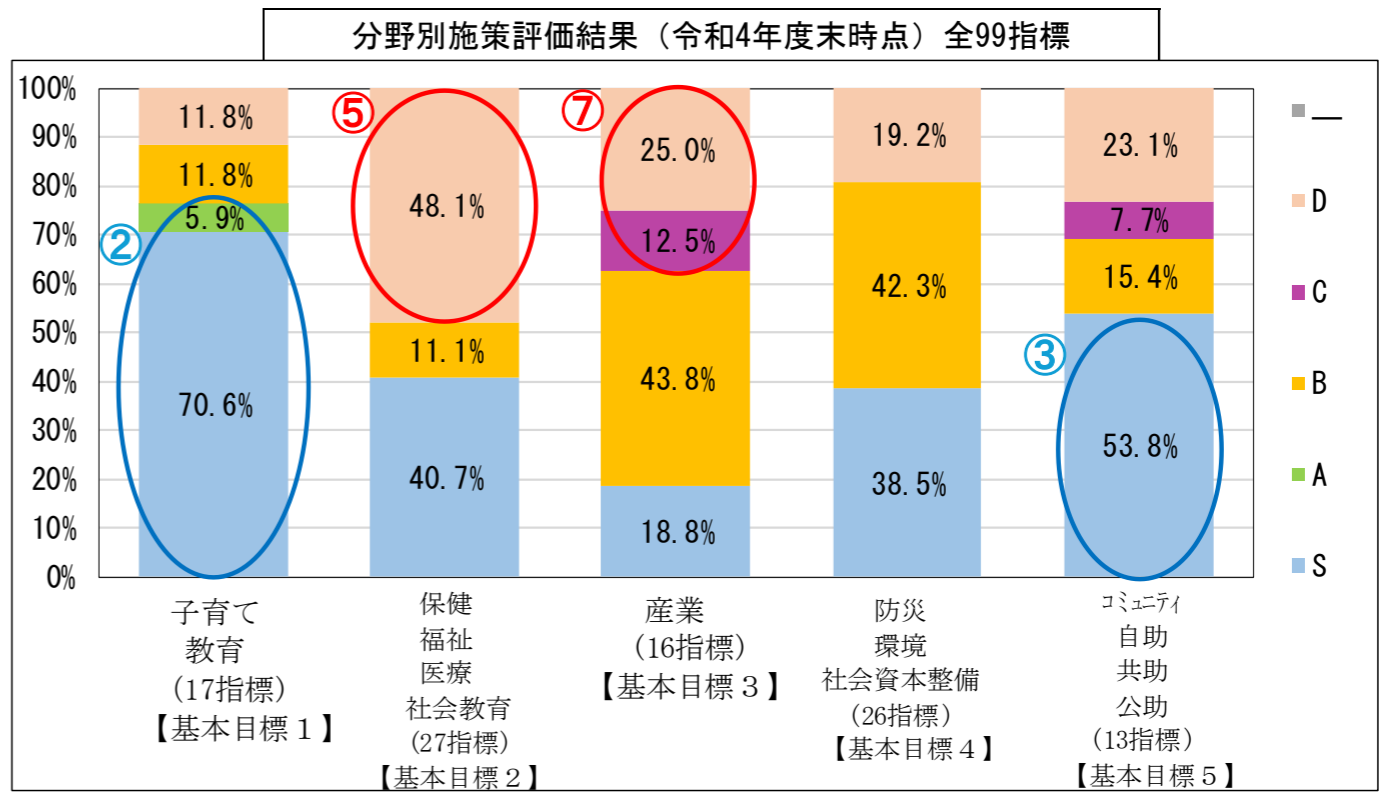
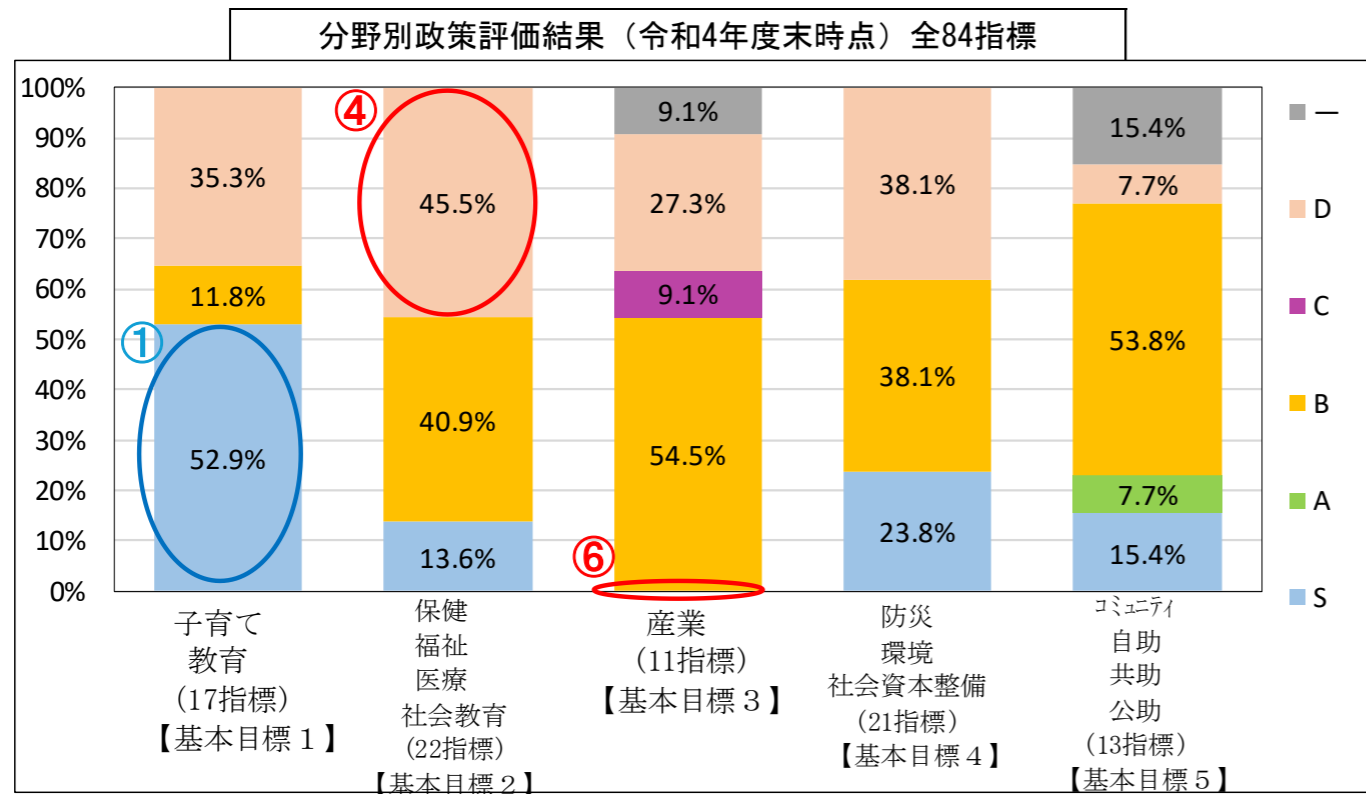
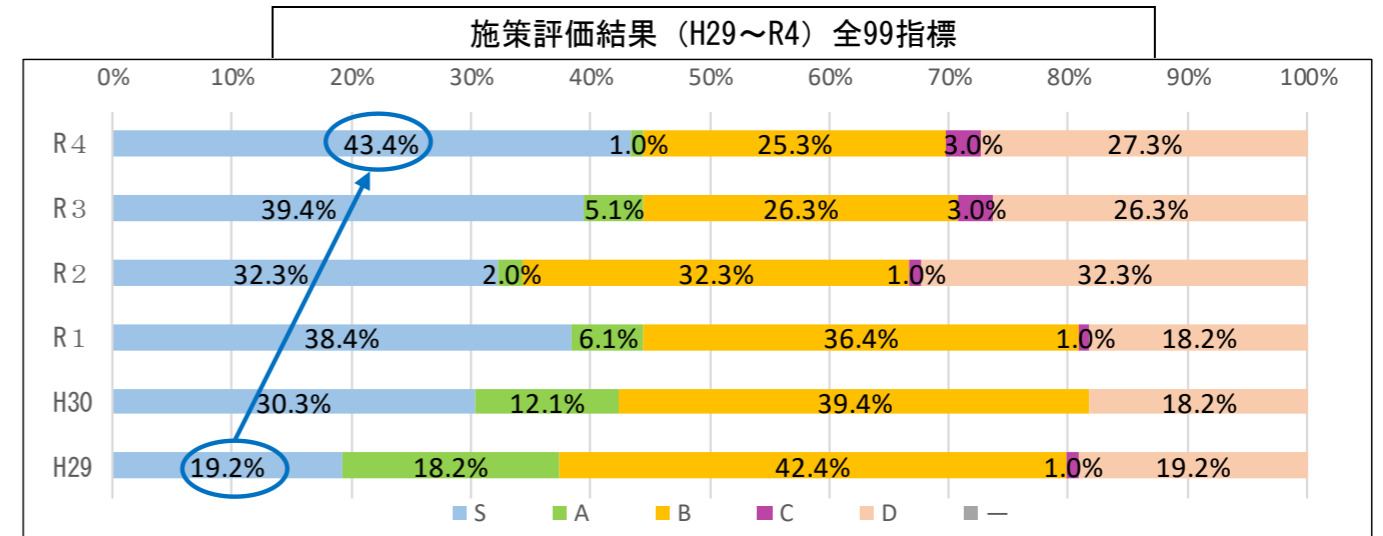
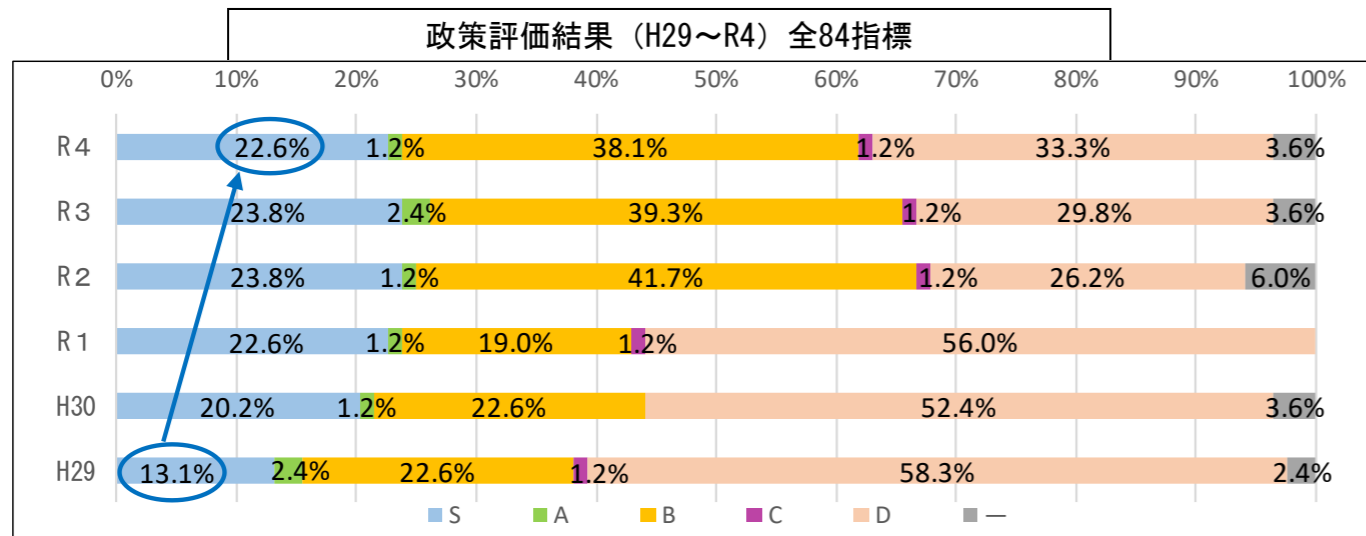


第2次菊川市総合計画の振り返りについて

1. 分野別計画の政策・施策評価結果

詳細につきましては参考資料3第2次菊川市総合計画の総合評価をご確認ください。

・評価全般において目標達成に向けて順調に進捗しています。ただし、令和2年度からコロナ禍の影響によるイベントの開催中止・規模縮小等により評価が低くなっている指標があります。



評価の高い分野

子育て教育
①②

- ・保育サービス
- ・母子健康支援
- ・教育環境の整備

コミュニティ自助共助公助
③

- ・市民協働
- ・市の情報・魅力発信
- ・多文化共生
- ・行政運営のデジタル化

改善すべき分野

保健福祉医療社会教育
④⑤

- ・地域福祉
- ・生涯学習

産業
⑥⑦

- ・茶業振興
- ・交流人口拡大

2. 第2次菊川市総合計画の評価と第3次菊川市総合計画のイメージ

・5つの基本目標を柱に様々な事業を進めた結果、下記の取組実績が得られました。一方で目標未達成の事業も見られるため、第3次菊川市総合計画においては事業の要否・進め方を検討した上で引き続き事業を推進していく必要があります。

基本目標	取組実績	参考指標	目標値 (R7)	第3次計画イメージ
			第2次総合計画策定時 (H27) 最新値 (R4)	
基本目標1 子どもがいきいき育つまち 【子育て・教育】	【できたこと】 ・待機児童ゼロ ・認定こども園化の推進 ・乳幼児健診受診率の向上 ・教育現場におけるICT環境の整備 (GIGAスクールの推進) 【継続していくこと】 ・不登校児童生徒の支援・環境づくり ・学校支援地域ボランティア活動	幼児施設入所待機児童数 (政策指標) ※削減目標 不登校児童生徒の割合 (施策指標) ※削減目標	R7目標値 : 0人 H27現状値 : 1人 R4実績値 : 0人 R7目標値 : 0.99% H27現状値 : 1.19% R4実績値 : 2.93%	・幼児施設における待機児童ゼロは達成した。しかし保育のニーズは増加しているため、少子化を踏まえつつ引き続き定員確保やニーズに応じた整備の検討を実施していく。 ・ <u>妊娠・出産・育児まで切れ目のない支援</u> を引き続き実施し、子育てしやすいまちの実現を目指していく。 ・教育現場におけるICT環境を効果的に活用した教育の推進を実施していく。 ・ <u>学校・家庭・地域が一体になり子どもを育てる環境づくり</u> を継続して進めていく。
基本目標2 健康で元気に暮らせるまち 【保健・福祉・医療・社会教育】	【できたこと】 ・健康マイレージの推進 ・各種予防接種事業 (乳幼児、高齢者、新型コロナウイルスワクチン) ・認知症サポーターの養成 ・障がいのある人の就労支援 【継続していくこと】 ・地域福祉活動 (地域活動者の拡大) ・生涯学習 (スポーツ、文化活動等) の推進	認知症サポーター養成の人数 (施策評価) 「市民同士が地域で互いに支え合うことができているまち」だと思える市民の割合 (政策指標)	R7目標値 : 3,800人 H27現状値 : 2,012人 R4実績値 : 4,523人 R7目標値 : 75.0% H27現状値 : 65.0% R4実績値 : 55.6%	・第3次菊川すこやかプラン (R6-R17) を推進し、 <u>市民の健康維持・増進を支援</u> していく。 ・生産年齢人口が急減し、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれるなかで、 <u>地域包括ケアシステムを更に深化・推進</u> していく。 ・第4次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画 (R4-R8) 等の評価を行い、課題を把握・検討した上で、 <u>地域共生社会の実現</u> に向けて進めていく。 ・菊川の文化の次世代へ継承発展させることをめざす、第2次菊川市文化振興計画 (R4-R13) を推進し、 <u>文化振興に関わる人材育成と環境づくり</u> に取り組む。 ・第2次菊川市スポーツ振興基本計画 (R5-R14) の理念「 <u>生活のなかにスポーツの楽しみと活力があるまち</u> 」に向けた施策を推進していく。
基本目標3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 【産業】	【できたこと】 ・農業振興 (担い手の確保、農地の管理) ・深蒸し菊川茶GI登録 ・就労機会の拡大 (なでしこワーク、企業見学バスツアー) 【継続していくこと】 ・お茶の消費拡大・販路拡大 ・交流人口の拡大	農業法人や農業団体等の確保 (施策指標) 「茶の生産が盛んなまち」だと思える市民の割合 (政策指標)	R7目標値 : 30経営体・団体 H27現状値 : 24経営体・団体 R4実績値 : 33経営体・団体 R7目標値 : 88.0% H27現状値 : 82.7% R4実績値 : 76.0%	・農業において高齢化による後継者不足等は年々厳しくなっているため <u>引き続き担い手の確保</u> を実施していく。 ・第2次菊川市茶業振興計画 (R5-R14) に掲げた取り組みを確実に推進し、 <u>茶経営体の強化とともに消費拡大・販路拡大に向けPR</u> を実施していく。 ・就労機会の拡大に加え、 <u>新たに創業を希望する事業者</u> の支援を産業支援センターを中心に推進していく。 ・駅北整備や観光資源の発掘による <u>新たなにぎわいの場を創出</u> していく。
基本目標4 快適な環境で安心して暮らせるまち 【防災・環境・社会資本整備】	【できたこと】 ・交通事故、犯罪の減少 ・都市計画道路の整備 ・菊川駅南北自由通路橋上駅舎の着手 ・水質環境の保全 【継続していくこと】 ・防災における「共助」の推進 (地域防災) ・道路・公園等インフラの整備	都市計画道路の整備率 (政策指標) 「市内外にスムーズに移動できる道路が整備されたまち」だと思える市民の割合 (政策指標)	R7目標値 : 65.5% H27現状値 : 63.5% R4実績値 : 66.4% R7目標値 : 64.0% H27現状値 : 59.4% R4実績値 : 58.7%	・予想される大規模地震や頻発する豪雨等の風水害から市民の生命と財産を守るため <u>防災対策の強化</u> を実施していく。また防災力の強化には「 <u>共助</u> 」による <u>地域の助け合い</u> が重要であるため、地域防災活動を推進していく必要がある。さらには、能登半島地震で支援を行った教訓から、 <u>受援体制を強化</u> することが重要である。 ・「ゼロカーボンシティ」宣言を踏まえ、2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロの達成に向けて <u>環境施策の一層の推進</u> を図る必要がある。 ・都市計画道路整備率の目標は達成した。しかし依然として <u>移動・交通に対するニーズは高い</u> ため、駅北整備の計画を含め、市民にとってより <u>利便性の高いまちになるインフラ整備</u> を実施していく。
基本目標5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち 【コミュニティ・自助・共助・公助】	【できたこと】 ・情報発信力の強化 (市公式LINE・Twitter・dボタンの運用開始) ・市民活動の活性化と市民協働の推進 ・外国人相談窓口の開設、多言語による情報発信 ・移住・定住促進 ・行政サービスのデジタル化 ・行財政運営の健全化 (将来負担比率の改善) 【継続していくこと】 ・他市町との広域連携	市民協働センターへの団体登録数 (政策指標) 広域協議会等への提案で実現した施策提案数 (施策指標)	R7目標値 : 90団体 H27現状値 : 0団体 R4実績値 : 88団体 R7目標値 : 1件 H27現状値 : 0件 R4実績値 : 1件	・市民に届く情報発信、 <u>菊川市の魅力が伝わる情報発信</u> を継続して実施していく。 ・引き続き、 <u>性別や国籍等の多様性を認め合い</u> 、誰もが暮らしやすいまちを目指していく。 ・行政運営にICTを活用してさらなる <u>市民の利便性向上及び効率化</u> を進めていく。 ・ <u>多様化する市民ニーズへの対応や広域的な課題解決</u> に向けて、近隣市町や企業・団体との連携に取り組んでいく必要がある。